

巴工業株式会社 様



メールセキュリティ強化を目的に「Microsoft Office 365」を導入。PCの故障対応や保守効率化にも貢献

巴工業株式会社は、遠心分離機を中心とする機械製造販売と化学工業製品の先端製品を輸入販売する2つの分野をコアに、国内および海外で事業を展開しています。同社では、年々進化するスパムメールやマルウェアに対処するためクラウドサービスである「Microsoft Office 365」（以下、Office 365）を導入。管理者の手間をかけずにセキュリティ対策が適用されるほか、メールデータがクラウド上に保存されるためPC故障時に過去のメールが失われるリスクを回避できました。

課題と導入の効果

- 課題** スпамメールやマルウェアへの対応がワンストップで提供されるサービスを探していました。
- 課題** POP3 メールはPC故障時にローカル保存した過去メールを喪失するリスクがありました。

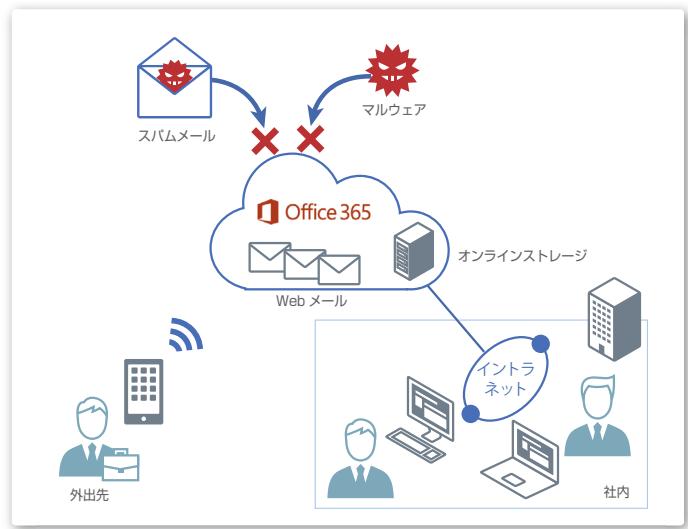
- 効果** 「Office 365」のメールセキュリティ機能により管理負担なしでセキュリティを強化できました。
- 効果** 「Office 365」はクラウド上にメールを保存するため、PC故障時でもメール喪失はありません。

巴工業株式会社は国内約550アカウントのメールシステムをソフトバンクが提供する「ホワイトクラウド メールサービス」、クライアント側のメールソフトはWindows 7の「Windows Live メール」で運用していましたが、スパムメールのフィルタリングやマルウェア対策をより強化したいと考え

ていました。メールシステムに個別のセキュリティ製品を導入する対策も検討しましたが、次々と発見される新種のマルウェアに対してその都度個別製品で対応することは、導入コストや運用負担の面から現実的ではないと判断し、クラウドサービス型のメールシステム導入を決めました。

クラウド型メールシステムを含んだグループウェア製品を比較検討したところ、機能やコストの面で大きな差異はなかったものの、中国での運用実績に違いがありました。同社は中国に複数の拠点を持ち、海外出張で同国へ渡航する機会が頻繁にあったため、中国での運用実績の多い「Office 365」を選択しました。既存メールシステムを運用していた実績から、シングルサインオンの構築も含めてソフトバンクから「Office 365」を導入しました。

「Office」の既存ライセンスを継続利用し、「Office 365」はメール、予定表、連絡先、ポータル、ストレージ、プレゼンス、ビデオ会議、SNSが入った「Office 365 Enterprise E1」を採用しました。以前のリッチクライアント型メールソフト「Windows Live メール」からWebアプリケーション型の「Outlook on the Web」での利用に切り替えたことで、メー



ルデータをローカル PC に保存しなくなり、PC の故障でメールアドレスを紛失するリスクがなくなりました。また、スパムメールの排除やマルウェア対策は常に最新の対策が施されるため、個別のセキュリティ対策を実施することに比べ追加コストや運用負荷もなくなりました。

同社では予定表、業務文書回覧、社内規定の告知、ワークフローといった情報系システムはオンプレミスで運用するパッケージソフトを利用していますが、今後は「Office 365 Enterprise E1」に含まれる「SharePoint Online」への切り

替えを検討しています。これは単なる機能移植にとどまらず、マイクロソフトが提供するオンライン型の CRM「Microsoft Dynamics 365」導入を見越したものだといいます。営業担当者にはスマートフォンを配布して外出先から Exchange Online(メールや連絡先)の利用を可能としており、今後はその他の「Office365」アプリへのアクセス許可や「Microsoft Dynamics 365」の導入によるさらなる営業力強化を目指しています。

お客様の声



巴工業株式会社
経営企画室
システム管理課 課長
高橋 裕一 氏

当社の国内従業員に約 400 台の PC を配布しており、そのうち年間約 100 台についてリース切れ、もしくは故障による端末交換が発生しています。以前はシステム管理課で PC を引き取り、既存のデータをいったん外部ストレージに保存した後、新しい PC にデータを書き戻して配布するという一連の手順に丸一日を要していました。管理者側の業務負荷はさることながら、社員にとって丸一日 PC が使えない状況は業務に影響します。「Office 365」へ切り替えた後は、あらかじめ必要なデータをローカル PC からクラウド上の「OneDrive for Business」にアップロードしてから PC の交換を実施してもらうことで、アカウント設定など最小限の設定を施したのちに即時の PC 交換が可能になりました。新しい PC から「Office 365」にログインすると「OneDrive for Business」のファイル同期が始まり、ほとんど空白時間をつくらずに仕事を再開できるようになり、業務効率は大きく改善しています。また「Office 365 Exchange Online」のメールフィルタリングによりセキュアな運用が実現しました。「Microsoft Dynamics 365」はモバイルによる営業効率向上に期待しており、費用対効果の向上が見込めるなら導入したいと考えています。



巴工業株式会社
経営企画室
システム管理課 主事
橋本 和敏 氏

クラウドサービス型のメールシステムに切り替えたことで、過去のメールを PC 上で管理する必要がなくなり、当初の課題であった PC 故障時のメールアドレス復旧という管理業務が不要になりました。このほか出張時に PC を持ち出さなくても、出張先の共有 PC や貸出専用の PC、さまざまなデバイスからメールのチェックが行えるようになったのは「Office 365」を導入したメリットです。以前は「Windows Live メール」の利用を推奨していたのですが、これ以外にもさまざまなメールソフトが利用されており、使い方や不具合の問い合わせを受けて返答に苦労することもありました。現在は「Office 365」の Web アプリケーションに統一されていますのでさまざまな問い合わせにも即答でき、設定方法などのマニュアル作成も 1 種類で完結するため管理者の負担も軽減されました。メールシステム切り替え時には、従来のリッチクライアント型メールソフトから Web アプリケーション「Outlook on the Web」へと使い勝手が変わるので、全国の拠点を回って事前の説明会を実施したり、プレオープンとして「Office 365 Exchange Online」へもメール転送して使い方に慣れてもらう並行運用期間を設けるなど、スムーズな移行を目指しました。

導入企業情報



巴工業株式会社

会社名：巴工業株式会社

本社：東京都品川区北品川五丁目5番15号

設立：1941年5月29日

URL：<http://www.tomo-e.co.jp/>

従業員数：694名(連結)、360名(単体) 2015年10月31日現在

※パンフレット記載内容は、2016年12月現在のものです。